

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|----------|---|
| 会議名 | 平成28年度第2回 高松市行財政改革推進委員会 |
| 開催日時 | 平成28年7月19日(火) 13時30分～16時30分 |
| 開催場所 | 高松市役所 11階 113会議室 |
| 議 題 | (1) 第6次高松市行財政改革計画 平成25～27年度実績報告について (2) 平成28年度高松市外部評価について |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由 | |
| 出席委員 | 生嶋委員、石田委員、乾委員、葛西委員、喜田委員、村山委員 |
| 傍聴者 | 0人 (定員 5人) |
| 担当課及び連絡先 | 人事課行政改革推進室 839-2160 |

審議経過及び審議結果

(1) 第6次高松市行財政改革計画 平成25～27年度実績報告について

<主な質疑等>

(委員)

第7次高松市行財政改革計画では、業務量の増加等を市役所が抱える課題とし、その解決を重点取組項目に掲げている。一方で、実績報告では、職員の定員削減の説明がなされていた。この点は、矛盾しているように見受けられるが、現時点で、定員と業務量の比較を行い、どの程度の業務量の負担が生じているのかを確認しているのか。

(事務局)

職員数が減少する中で、事務量が増加傾向であることから、事務処理の無駄を洗い出し、見直すことで事務の効率化を図ることとしている。この点については、事務処理改善チームを設置し、これから検討していくところである。

(委員)

結果的に、病院事業会計が目標を達成できなかったことが、目標効果額を達成できなかったと見受けられる。この結果をどのように分析しているのか。

(事務局)

第6次計画策定時の経営状況から更なる歳入増加を目標に掲げていたが、近隣の病院新設等により、結果として目標効果額を達成できなかったもので、目標設定時に問題があったと考える。

(2) 平成28年度高松市外部評価について

外部評価対象の6事業について、評価の論点整理を行った。

ア 市民葬儀事業

- ・市民葬儀のメリットは何か。
- ・プランによって料金を定めているにもかかわらず、現実には追加料金が発生する設定(規格)は市民に分かりにくい。
- ・A型、B型の両方必要か。
- ・市民葬儀の存廃は別にして、霊柩車・寝台車の運行料金補助や火葬料の免除、斎場使用料の減免は必要か。

イ 公衆便所管理事業

- ・利用率や個々の設置理由、老朽度、周辺の公共施設等の状況を踏まえて検討する必要がある。
- ・観光地や山間部は必要としても、その他は再配置も含めて検討すべき。

ウ 歴史資料館管理運営事業（ほか関連4事業）

- ・指定管理の導入可能性を検討する。

エ 教育資金支援事業

- ・給付額は適正なのか。
- ・奨学金が社会問題化する中、他主体の制度との関係もあるが、支給型の入学準備金に一本化することの可能性はどうか。

オ 図書館管理運営事業（ほか関連1事業）

- ・指定管理の導入可能性を検討する。

カ コミュニティセンター講座等事業

- ・高齢者教室や女性教室等も含めて、コミセンに係る講座等の全体の中で議論する。
- ・個々の講座の必要性はどうか。
- ・講師謝金基準によって使いにくい事業（委託金）になっていないか。